



▲柔らかな光を浴び、新たな1年がスタート (=いこいの村はりま周辺)

## ついでにお買い物 新しい通いの場の形

網引町ハツラツ体操グループ（いきいき100歳体操）が、体操教室の時間に合わせてコープ宅配を利用する試みを、11月5日から26日まで計4回実施しました。参加者は体を動かした後、コープ担当者から宅配の利用方法を学び、試食会を楽しみました。元気なうちに将来の生活を支える手段を知っておくことは、暮らしの安心につながります。



▲体操の合間にコープの商品を試食。「ついでにお買い物ができる助かる。みんなで選ぶのが楽しい」と好評でした



▲柱にたいまつを打ち付け、悪霊や災難を追い払う赤鬼。上万願寺町と下万願寺町の主に厄年の男性が想い赤鬼と青鬼を演じる

## 食と会話でつなぐ絆 1年の締めくくり

12月21日、アスティアかさいで「グローバルタウンミーティング＆望年会」が開催され、136人が参加しました。前半は言語ごとのグループに分かれ、市の魅力や課題について熱心に意見交換を行い、後半は各国の自慢料理やステージの発表、ビンゴ大会で会場は熱気に包まれました。食事や会話を通じて互いの文化に触れ、笑顔で交流を深めました。



▲加西市の魅力や課題について、真剣に語り合う参加者たち



▲感謝状を手にする生田院長（中央左）と熊谷副会長（中央右）とサポートーの会の皆さん

## 感謝を込めて 計400食の差し入れ

12月25日、加西病院センターの会が、年末年始も奮闘する医師や医療スタッフを応援しようと同病院を訪問しました。熊谷佳代副会長が「1年間お疲れ様でした。ありがとうございました」と伝え、感謝状とパン、カップ麺などを贈りました。生田肇院長からは「いつもサポートしていただき、ありがとうございます」と感謝の言葉が返されました。

## 2026年の幕開け 願いを込めて

元日の早朝、加西市青少年団体連絡協議会主催の「新春のつどい」が開催されました。約350人が参加し、ランドマーク展望台を目指して登頂しました。初日の出が姿を現すと、参加者たちは新たな一年の健康と幸運を祈り手を合わせました。下山後は、アラジンスタジアム駐車場で今年の漢字「縁」が発表された後、お年玉抽選会を楽しみました。

## 青空の下駆ける 全力疾走のロードレース

12月13日、善防中学校周辺コースで加西市陸上競技協会主催の「第59回加西ロードレース大会」が開催されました。約210人が参加し、沿道からの温かい声援を受け、最後まで力強い走りを見せました。女子中学2・3年の部で優勝した北条中2年の西浦璃莉さんは「1位は嬉しいが、歴代記録更新を狙っていたので悔しい」と思いを語りました。



▲勢いよく飛び出す水に負けないよう、しっかりと訓練用消火器を握る参加者



▲それぞれの目標に向かって、一步も引かない走りを見せる (=中学女子の部)

## もしもに備えて 消防1日体験

12月13日、加西消防署で加西市女性団体連絡会と加西市連合婦人会主催の「消防1日体験」が開催されました。親子8組が参加し、放水や消火器体験、救急講習などに挑戦しました。北条小1年の只津陽凪さんは「心臓マッサージとAEDで人を助けることができる。消火器体験も楽しかった」と頼もしい笑顔を見せました。親子で防災意識を高める1日となりました。



▲プロの技に触れ、充実した表情を見せる子どもたち (=アラジンスタジアム横の多目的グラウンド)

## 冬の彩り鮮やかに ハボタン市

12月13日・14日、イオンモール加西北条で北播磨花壇苗研究会主催の「北播磨ハボタンフェア」が開催されました。加西市を含む北播磨地域は全国有数のハボタン産地です。会場には丹精込めて育てられた色鮮やかなハボタンが並び、訪れた人々を魅了しました。生産者は「来年も皆さんに美しいハボタンを届けたい」と笑顔で話しました。



▲北播磨の冬の顔であるハボタンが会場を彩る



▲ギターの音色に合わせ、会場一体となって音楽を楽しむ参加者たち

## 誰もが輝く 共に生きる社会へ

12月6日、イオンモール加西北条で「つなげるつながる」をテーマに、障がいへの理解と支え合う社会づくりを目指し「みんなの福祉フェスタ2025」が開催されました。親子漫才やデフリンピック選手による対談、音楽発表などが披露されました。会場は多くの来場者でにぎわい、笑顔が溢れる温かい交流の場となりました。